

起

くる・おこす
おきる・おこす

【3】 年

10画
十 千 丰 走 走 起

いみとじゅく
起き：立つ。持ち上げる。
起床：寝床から起き出ること。
起立：座った姿勢から立ち上ること。
隆起：高く盛り上がること。
起重機：非常に重い物を持ち上げたり、移動させたりするための機械。



なりたち

糸の初めを表した己と走との会意形声字。“走る”意味。

初め・走る前の行為を表した字。“立ち上がる・起きる”的意味。転じて、“起ころる・起こす”こと。

起き：始まる。始める。

用例：工事を始めること。

起工式：工事を始めること。

なりたち

糸すじの意味の己と

続ける」という意味の字で、

記載：書き記す。

記入：書類に書いて載せるのこと。

明記：はつきりと書くこと。

書き記したもの。

筆記：書類に書いて記すこと。また、

記事：新聞などの、事件や事実を書いた文章。

記

おん
キ

【2】 年

10画
ニ 三 三口 言 口 言 記

いみとじゅく
書き記す。書きとめる。
記載：書類に書いて載せる。記入：書類に書いて記す。筆記：書類に書いて記す。また、



なりたち

記憶：過去に経験したこと

覚えておくこと。また、そ

暗記：そらで覚えること。

伝記：ある人の一生を書きつづつたもの。

の

記憶：過去に経験したこと

覚えておくこと。また、そ

の覚えている内容。

記号：ある事柄を表すための印。

文字や符号。印。

忌

おん
キ

7画
一 ロ 己 𠂔 忌

いみとじゅく
いむ・いまわ

▼忌む。嫌う。
忌避：忌み避けること。嫌つて避けること。

禁忌：禁じられた忌み事。忌み嫌つて、してはいけないと禁ずること。

1習俗として、ある日、食物などを嫌つて避けること。②ある病気に対して禁じられた薬品や食品。

③タブー。

妃

おん
ヒ

6画
し 女 女 女 妃

いみとじゅく
高貴な夫人。

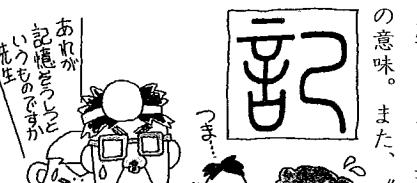
▼貴妃：きさき。唐代、天子の第三夫人の称。楊貴妃（ひやうき）はこれである。

王妃：国王の夫人。

妃殿下：皇族の夫人の敬称。

妃太子妃：皇子・皇孫の夫人

皇太子妃：皇太子のきさき。



なりたち

記憶：過去に経験したこと

覚えておくこと。また、そ

暗記：そらで覚えること。

伝記：ある人の一生を書きつづつたもの。

記憶：過去に経験したこと

覚えておくこと。また、そ

の覚えている内容。

記号：ある事柄を表すための印。

文字や符号。印。



忌

妃

